

東京都議会議員選挙(北区選挙区)選挙公報

(定数3人)

東京都選挙管理委員会

小池都政と北区を繋ぐ若い力! 東京大改革2.0 前進か、後退か。

都議選
最年少
候補

「爆速」ワクチン接種で経済活動再開へ
●国産ワクチン・治療薬の開発支援強化(世界的ワクチン獲得競争の遅れを取り戻し加速へ)
●1400万都民を守る「爆速」ワクチン接種計画(大規模接種施設はじめ、都の施設を徹底活用)
●水際対策の強化

都民を守る「都民ファースト・ケア」
●国に奪われている都税を取り戻し「東京コロナ・ケア」を実現(国に年間約7600億円の都税の返還を求め、世帯年収に応じた年間最大15万円の給付でコロナ禍の都民生活を強力支援!)
●「いつでも・どこでも・誰でも」健康チェック
「おうちでドック」等の自宅検査キットを活用した、がん・生活習慣病等の健康診断
●未来を担う学生の携帯電話料金の実質無償化

女性の多様な生き方の実現
●保育・学童の待機児童ゼロへ!(都内の保育待機児童数はこの4年間で約9割減少)
●家庭内ジェンダー平等の推進 ●女性の家庭と仕事の両立支援 ●女性が健康で輝き続ける社会

都民の命と暮らしを最優先にした東京オリンピック・パラリンピック大会
●都民の皆様の命と暮らしを守り抜くことを最優先に、あらゆる選択肢を視野
●国が有観客での開催を強行する場合「無観客」での開催を強く求める

プロフィール 1996年4月生まれ。和歌山信愛中・高知
県明徳義塾高・早稲田大学国際教養学
部卒。2019年4月パーソルキャリア株式会社入社。海外留
学や仕事を通じた国際経験を経て、若者の政治への無関心
さや働き方の多様性について課題を痛感し、立候補を決意。
SNSからも積極的に発信中!

小池百合子です。最年少候補の林元
さんは、若さと行動力で北区と都政をつな
ぎ、改革をさらに進めていく期待の新人
です。ご支援をお願いします。
推薦人 小池百合子



林元 はやしと まき 25歳

都民ファーストの会公認

北区すべての人に寄り添う政治を

心の絆を育てる
こども施策・福祉で幸せを実感!
●国「こども庁」と、都「子供局」の検討促進
●放課後居場所の拡充と少人数学級促進
●不妊治療費と出産一時金の増額
●障害者支援の強化
●元気高齢者の活躍
促進・介護支援

中小企業支援・デジタル化で
活気あふれる経済へ!
●区内商店街・中小企業活性化
●王子、赤羽、十条などの駅周辺再開発
●AI・DX・グリーン化と
SDGsで産業活性化
●飛鳥山を中心に渋沢栄一
など観光振興

自然災害に強い
街づくりで、安心を実感!
●荒川などの大規模風水害
や震災対策
●感染症に強い避難所整備
●十条、志茂、西ヶ原など木密地域不燃化
●防犯対策強化 ●無電柱化の促進

行財政改革の徹底で、
優しく便利を実感
●無駄をなくす! 都財政へ
●行政サービスのデジタル化
推進
●都民へのデジタル化サポート
体制の強化で優しい行政を

自民党公約 個人都民税20%、事業者税50%削減、学校給食費無償化(時限的措置)
一年間、北区の課題を都議会で取り組みました
都議会で8回質問(1年間) コロナ支援金の上乗せ 渋沢栄一を
乳幼児健診の制度充実 防災避難所に都施設を活用 都の観光施策の
一環に採用
頼れる
都政へ
即戦力!

やまだ加奈子 略歴 北区生まれ*北区育ち

●1971年北区で二女二女の末娘として生まれる。西ヶ原在住。
●不妊治療後、出産。小5男児の母。伯母の介護を10年経験。
●北区立第二岩淵小学校(保、なでしこ小)1.2年生、3年生から滝野川第三小学校、
北区立王子中学、都立高島高校、大妻女子短大卒業。
●セラピーとカウンセリングを学び実践後、
「人に寄り添う政治が必要」と痛感し、
平成19年より北区議会議員4期
●平成27-29年 第68代区議会議員
●令和2年 東京都議会議員(北区選出) 初当選
●保険会社を経て損保代理店として独立。



やまだ 加奈子

自民党公認

実績No.1。 頼れる実現力

私たちが応援します!
公明党代表 山口 なつお
元国土交通大臣 衆議院議員 太田 昭宏
北区長 花川 與惣太
政治評論家 森田 実
作家 佐藤 優



大松 あきら

おお
まつ

①休日・夜間のワクチン接種 拡大へ。タクシー送迎も実現
働く現役世代や子育て家庭の円滑な接種へ、土日・祝日・夜間の接種拡充に全力。会場までの移動が困難な高齢者や障がい者の皆さまにタクシーでの無料送迎も実現。
②水害防く調節池の整備促進
荒川や石神井川の上流で一時的に水をためて氾濫を防ぐ調節池の整備促進、スーパー堤防建設などの防災・減災対策を数多く実現。
③住みやすい街へ バリアフリー化を推進
駅での転落を防ぐホームドア増設とともに、エレベーターの整備など区内の都営住宅で300カ所以上のバリアフリー化を進めました。
④「身を切る改革」議員報酬2割カットで27億円を捻出
4年前の選挙公約に掲げた、議員報酬の2割カット、政務調査活動費の月額10万円減額を断行し、4年間で約27億円の経費を削減。今年度も継続が決定しました。

チャレンジします!
がん対策 重粒子線治療を都内でも
副作用が少ない重粒子線治療(最先端の放射線療法の一つ)を都立病院に導入し、働きながら治療できる体制を確立します。
子どもの健康 高3までの医療費無償化
北区は、都内でもいち早く、中学3年生までの医療費が無償化。さらに、高校3年生・18歳までの入院費無償化が実現しました。大松あきは、これをさらにすすめ、高校3年生までの医療費無償化をめざします!

略歴 東京都議会議員4期。都議会党副政務調査会長、公明党北総支部長。北区上十条在住。大阪大学法学部卒。

命を守る都政に 東京五輪は中止しコロナ対策に集中を

◎希望者全員に安全・迅速・確実なワクチン接種を
◎都の検査能力をフル稼働させ、PCR検査の大規模実施を
◎営業を守るため、事業規模に応じた補償・支援を実現
◎医師・看護師・保健師の増員、医療・保健所体制の強化を

都立・公社病院 独立行政法人化をやめ、拡充を
道路・駅前再開発 「まち壊し」の開発計画は見直しを
少人数学級 小中学校で30人学級を早期実現
住まいの保障 都営住宅の空き室活用・新規建設

市民と野党の共同の議席を
そねさんに期待します 井護士 元日弁連会長 みんなで選挙@東京12区 立憲民主党 新社会党
宇都宮けんじ 大野 裕之 石川 大我 福田 光一 共同代表・東洋大教授 参議院議員 北区議会議員

●1952年室蘭市生まれ ●都立小石川高、北大理学部卒。化学会社勤務、民青同盟専従を経て北区議2期、都議6期 ●都議回政調委員長、団長を歴任し論戦の先頭に ●趣味は切り絵。家族は妻と娘2人



日本共産党 そね はじめ

投票日 7月4日(日)午前7時から午後8時まで

期日前投票期間 6月26日(土)~7月3日(土)
午前8時30分から午後8時まで

期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など
(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、
期日前投票の積極的なご利用をお願いします

新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などを
されている有権者は特例郵便等投票が利用できます

投票用紙の請求期限 6月30日(水)午後5時まで
投票用紙の請求先 区市町村選挙管理委員会

(特例郵便等投票の対象者及び投票方法については、東京都選挙管理委員会の特設ホームページでご確認いただくか、お住まいの区市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。)

特例郵便等投票のご案内：
<https://www.r3togisen.metro.tokyo.lg.jp/covid-voting.html>

福祉のプロ、多様性を都政へ

応援しています! 「東京版レスキュープラン」で財政出動
行政改革と資産売却を原資に2兆円規模の財政出動を行い、事業者補償の拡大と生活支援を講じます。

高齢者の命を守る、ワクチン迅速化
予約方法の改善や打ち手の確保で接種体制を強化し、全都民の年内接種完了を目指します。

都民に寄り添う「身を切る改革」
多くの都民が減収している困窮に鑑み、議員報酬・ボーナスの3割カット・寄付を優先します。

出産・育児・教育への徹底投資
児童手当の増額やオンライン教育の推進など、徹底した子育て・教育支援を行います。

多様性を尊重する文化の定着
同性パートナーシップ条例の制定や障害者就労の推進など、多様な人々が自分らしく活躍できる東京を実現します。

1988年静岡県生まれ。東京都北区神谷在住、一児の母。静岡県立浜松北高等学校普通科、ダブリン大学トリニティカレッジ心理学部卒業。その後、広告代理店を経て、現在は障害者雇用事業を展開する株式会社パートナーズに勤務。2018年より現参議院議員 音喜多駿の政策スタッフ。2020年、日本維新の会・あたらしい党で都議会議員補欠選挙に出馬、33,903票で惜敗、再チャレンジ。

SNSで情報発信中! 公式サイト <https://satokoto.com> 佐藤こと 検索



日本維新の会公認 佐藤こと 33歳

投票日 7月4日(日) 午前7時から午後8時まで

期日前投票期間 6月26日(土)～7月3日(土) 午前8時30分から午後8時まで

期日前投票所 お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

(期日前投票ができる日時は期日前投票所によって異なります。詳しくは、区市町村選挙管理委員会のお知らせ等でご確認ください。)

新型コロナウイルス感染防止に向けて、投票所の混雑緩和のため、期日前投票の積極的なご利用をお願いします

選挙管理委員会が実施する新型コロナウイルス感染症対策

- 投票所・期日前投票所にはアルコール消毒液を配置
- 投票管理者、投票立会人、投票所スタッフはマスクを着用
- 投票所内は扉や窓の常時開放、または定期的な換気
- 記載台、鉛筆等不特定多数の方が触れる箇所は定期的に消毒

有権者の皆様へのお願い

- マスク着用や咳エチケット、来場前・帰宅後の手洗い等
- 周囲の方との距離の確保

新型コロナウイルス感染症で自宅・宿泊療養などをされている有権者は特例郵便等投票が利用できます

投票用紙の請求期限 6月30日(水) 午後5時まで

投票用紙の請求先 区市町村選挙管理委員会

特例郵便等投票の対象者

東京都議会議員選挙の有権者で、投票用紙の請求の時点で、以下の外出自粛期間・隔離等措置期間が6月26日(土)から7月4日(日)までの期間にかかる見込まれる方

- 感染症法・検疫法の規定により外出自粛要請を受けた方(但し、濃厚接触者は対象外)
- 検疫法の規定により隔離又は停留の措置を受けて宿泊施設に収容されている方

(特例郵便等投票の対象者及び投票方法については、東京都選挙管理委員会の特設ホームページで

ご確認ください。お住まいの区市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。)

特例郵便等投票のご案内：<https://www.r3togisen.metro.tokyo.lg.jp/covid-voting.html>